

宅地建物取引業を営む事務所が複数ある場合、添付書類第(10)「宅地建物取引業に従事する者の名簿」は事務所ごとに作成すること。

添 付 書 類 (10)

(A4)

1 7 0

宅地建物取引業に従事する者の名簿

確認欄

※

事務所コード

※

事務所の名称 **建宅不動産 株式会社**

従事する者 **5** 名 うち専任の宅地建物取引士 **1** 名

免許申請書第三面の31「従事する者の数」に記載した人数

項番

61

業 務 に 従 事 す る 者												
氏 名			生 年 月 日			性 別	従業者証明書番号	主たる職務内容	宅地建物取引士であるか否かの別			
1	宮	城	太	郎			S 6 0 0 4 2 6	1男 2女	120401	代表取締役専任取引士	○ [(宮城)088888]	
2	宮	城	次	郎			S 6 1 0 4 0 1	1男 2女	120402	取締役	[()]	
3	宮	城	み	つ	子		S 5 7 0 6 0 6	1男 2女	120403	事務	[()]	
4	仙	台	史	郎			S 5 9 0 5 0 1	1男 2女	151004	営業	[(宮城)003333]	
5	仙	台	末	男			S 5 7 0 5 2 1	1男 2女	161005	営業	[()]	
6												
7												
8												
9	【従業者証明書番号について】											
10	宅地建物取引業法第48条第1項の証明書(従業者証明書)の番号を記入します。											
11	宅建業に従事し始めた(新規業者は免許を申請した)年と月、従業者ごとの番号からなる番号を付けます。											
12	(例) 2024年4月に、宅建業に従事し始めた人の場合											
13	24 04 01											
14	↓ ↓ ↓											
15	西暦の下2桁 月 従業者ごとの番号											
16												
17												
18												
19	(1)第1けた及び第2けたには、当該従業者が雇用された年を西暦で表したときの、西暦年の下2けたを記載する。											
20	(2)第3けた及び第4けたには、当該従業者が雇用された月を記載するものとする。ただし、その月が1月から9月までである場合においては、第3けたは0とし、第4けたにその月を記載する。											
21	(3)第5けた以下には、従業者ごとに、重複がないように付した番号を記載する。											

宅地建物取引士資格所持者については、登録番号を記入する。
うち、専任の宅地建物取引士である者は〔 〕の前に○印を付す。